

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所

平成 25 年度 研究報告会

(第 25 回)

プログラム・抄録集

平成 26 年 3 月 10 日(月)

国立精神・神経医療研究センター

研究所 3 号館 セミナー室

平成24年度精神保健研究所報告会 受賞者名

最優秀青申賞

- 船田正彦（薬物依存研究部）
「脱法ハーブ流通規制対策に関する研究：合成カンナビノイドの簡易検出法の確立」

青申賞

- 軍司敦子（知的障害研究部）
「非侵襲的脳機能計測による声特異反応の検出」
- 守口善也（精神生理研究部）
「リアルタイムfMRIを用いたストレス関連疾患の治療法の開発」

寒露賞

- 嶋根卓也（薬物依存研究部）
「クラブイベント来場者におけるMDMAをはじめとするクラブドラッグの使用パターンについて」
- 富山健一（薬物依存研究部）
「カチノン誘導体MDPVの薬物依存性および細胞毒性の評価」
- 野崎健太郎（災害時こころの情報支援センター）
「東日本大震災が睡眠、QOLおよびメンタルヘルスに及ぼした影響」
- 中崎恭子（精神生理研究部）
「新しい活動量計における睡眠／覚醒判定アルゴリズムの検討」
- 安村 明（知的障害研究部）
「注意欠陥／多動性障害における干渉抑制に関わる神経基盤の解明」

平成 25 年度 国立精神・神経医療研究センター
精神保健研究所研究報告会

会期:平成 26 年 3 月 10 日(月)

会場：国立精神・神経医療研究センター 研究所 3 号館セミナー室

日程:

	9:00 ～ 9:10	開会の辞 ご挨拶
【セッションⅠ】	9:10 ～ 9:40	演題 1 自殺予防総合対策センター
	9:40 ～ 10:10	演題 2 知的障害研究部
	10:10 ～ 10:40	演題 3 心身医学研究部
※休憩※	10:40 ～ 10:55	
【セッションⅡ】	10:55 ～ 11:25	演題 4 司法精神医学研究部
	11:25 ～ 11:55	演題 5 社会復帰研究部
	11:55 ～ 12:25	演題 6 成人精神保健研究部
	12:25 ～ 12:40	写真撮影・連絡
	12:40 ～ 13:40	昼食
【セッションⅢ】	13:40 ～ 14:10	演題 7 薬物依存研究部
	14:10 ～ 14:40	演題 8 精神保健計画研究部
	14:40 ～ 15:10	演題 9 社会精神保健研究部
	15:10 ～ 15:40	演題 10 精神薬理研究部
※休憩※	15:40 ～ 15:55	
【セッションⅣ】	15:55 ～ 16:25	演題 11 児童・思春期精神保健研究部
	16:25 ～ 16:55	演題 12 精神生理研究部
	16:55 ～ 17:25	演題 13 災害時こころの情報支援センター
	17:25 ～ 17:35	閉会の辞

< 後片付け・評価検討 >

19:00 ～ 20:00 懇親会・表彰式（コスモホール）
（18:30 開場）

平成 25 年度 精神保健研究所リサーチ委員会
金 吉晴 安藤久美子 安藤哲也 川野健治 齋藤顕宜 佐藤さやか

お知らせとお願い

<発表者の皆様へ>

1. 発表時間

各部の発表時間は、常勤・任期付研究者1名による発表8分および質疑応答2分、非常勤研究者2名によるそれぞれ発表8分および質疑応答2分の計30分間です。円滑な進行のため、発表者の交替も含めて各部30分の時間厳守でお願いいたします。

2. 発表形式および発表用ファイルの仕様

発表にはリサーチ委員会で用意する Windows マシン(Powerpoint2010 対応)を使用いたします。発表者の持参機、Macintosh マシンとの切り替え作業は行いません。Windows 版 Powerpoint での発表用ファイル作成をお願いいたします。なお、Powerpoint2013 以降で作成される場合には Powerpoint2010 との互換性が保証される形式で保存してください。発表用ファイルは各部1ファイルにまとめ、ファイル名は「01 災害時こころの情報支援センター.pptx (もしくは.ppt)」のように、演題番号(前頁参照)および研究部名としてください。

3. 発表用ファイルの提出

発表用ファイルは、**3月7日(金)**に成人精神保健研究部内に発表用PCを用意いたしますので、USB メモリ等でデータをご持参のうえ、デスクトップ上各部のフォルダに保存してください。また同時に動作確認も行ってください。データ提出、動作確認の時間割は別途お知らせいたします。

<座長・会場係のお願い>

1. 座長は各部長先生をお願いいたします。スケジュールが非常にタイトですので、上記発表時間厳守での運営をお願いいたします。
2. 会場係（タイムキーパー1名、照明・マイク担当2名）は、セッションごとにリサーチ委員の所属する部からのご協力をお願いいたします。

次の座長、発表者は最前列にご着席になり、お待ちください。

<写真撮影に関するお願い>

午前中の発表が終了した段階（12:25～）で、会場で記念写真撮影を行います。若手研究者の皆さんは、テーブルや椅子、機材等の移動等の手伝いをお願いいたします。

平成 25 年度 精神保健研究所 研究報告会
プログラム

9 : 00-9 : 10	開会の辞	精神保健研究所 所長	福田 祐典
	ご挨拶	企画戦略室長	福田 祐典

<< 発表 >>

9 : 10-9 : 40 自殺予防総合対策センター

座長 竹島 正

1 : 中学校での自殺予防プログラム GRIP の構成

○川野健治¹⁾、白神敬介¹⁾、川島大輔²⁾、荘島幸子³⁾、勝又陽太郎⁴⁾

- 1) 自殺予防総合対策センター
- 2) 北海道教育大学
- 3) 帝京平成大学
- 4) 新潟県立大学

2 : わが国におけるがん診断後の自殺および他の外因死：前向き地域住民コホートを用いて

○山内貴史¹⁾、稲垣正俊²⁾、米本直裕³⁾、岩崎基⁴⁾、井上真奈美⁴⁾、明智龍男⁵⁾、磯博康⁶⁾、津金昌一郎⁴⁾

- 1) 自殺予防総合対策センター
- 2) 岡山大学病院
- 3) トランスレーショナル・メディカルセンター
- 4) 国立がん研究センターがん予防・検診研究センター
- 5) 名古屋市立大学大学院医学研究科
- 6) 大阪大学大学院医学系研究科

3 : 睡眠障害と自殺の関連：心理学的剖検研究による症例対照研究

○小高真美¹⁾、松本俊彦¹⁾、勝又陽太郎²⁾、赤澤正人³⁾、立森久照¹⁾、川上憲人⁴⁾、江口のぞみ⁴⁾、白川教人⁵⁾、竹島正¹⁾

- 1) 自殺予防総合対策センター
- 2) 新潟県立大学
- 3) 兵庫県こころのケアセンター
- 4) 東京大学大学院
- 5) 横浜市こころの健康相談センター

9 : 40-10 : 10 知的障害研究部

座長 稲垣真澄

1 : 脳磁図と脳波による声特異反応の検出

○軍司敦子¹⁾、竹市博臣^{1,2)}、小林朋佳¹⁾、鈴木浩太¹⁾、山本寿子^{1,3)}、安村明¹⁾、北洋輔^{1,4)}、中川栄二⁵⁾、稲垣真澄¹⁾

- 1) 知的障害研究部
- 2) 理化学研究所仁科加速器研究センター

- 3) 聖マリアンナ医科大学
- 4) 日本学術振興会特別研究員
- 5) センター病院

2 : ADHD 児を対象としたニューロフィードバック訓練の効果

○高橋純一¹⁾、安村明¹⁾、中川栄二²⁾、稲垣真澄¹⁾

- 1) 知的障害研究部
- 2) 病院小児神経科

3 : GABAergic interneuron の発達における Srrm4 遺伝子機能解析

○白川由佳¹⁾、刑部仁美¹⁾、稲垣真澄¹⁾、中村祥子²⁾、井上健²⁾、後藤雄一²⁾

- 1) 知的障害研究部
- 2) 神経研究所疾病研究第二部

10 : 10-10 : 40 心身医学研究部

座長 安藤哲也

1 : 神経性食欲不振症患者の血漿アミノ酸プロファイルの解析

○安藤哲也¹⁾、田村奈穂²⁾、市丸雄平³⁾、倉尚樹^{1,4)}、石川俊男²⁾

- 1) 心身医学研究部
- 2) 国立国際医療研究センター国府台病院心療内科
- 3) 東京家政大学
- 4) 神奈川県予防医学協会

2 : 過敏性腸症候群に対する認知行動療法の効果および実施可能性に関する研究

○大江悠樹^{1,2)}、倉五月¹⁾、有賀元³⁾、天野智文³⁾、大和滋³⁾、堀越勝²⁾、福土審⁴⁾、菊地裕絵¹⁾、富田吉敏⁵⁾、安藤哲也¹⁾

- 1) 心身医学研究部
- 2) 認知行動療法センター
- 3) センター病院消化器科
- 4) 東北大学大学院医学系研究科行動医学
- 5) センター病院心療内科

3 : 怒りを中心としたネガティブ気分に伴う生理指標の同定と生理指標を利用した対処方略の検討

○上野真弓¹⁾、菊地裕絵¹⁾、前田基成²⁾、安藤哲也¹⁾

- 1) 心身医学研究部
- 2) 女子美術大学芸術学部

10 : 55-11 : 25 司法精神医学研究部

座長 岡田幸之

1 : 東京都の医療観察法指定通院医療機関の整備に関連する要因の調査

○菊池安希子¹⁾、長沼洋一²⁾、三澤孝夫³⁾、福田敬⁴⁾、安藤久美子¹⁾、岡田幸之¹⁾

- 1) 司法精神医学研究部
- 2) 東海大学健康科学部社会福祉学科
- 3) センター病院
- 4) 国立保健医療科学院研究情報支援研究センター

2 : 医療観察法入院処遇期間の経年的変化と転院の影響

○河野稔明¹⁾、菊池安希子¹⁾、長沼洋一²⁾、岡田幸之¹⁾

- 1) 司法精神医学研究部
- 2) 東海大学健康科学部社会福祉学科

3 : Go/Nogo 課題から見た行動抑制系/行動賦活系における事象関連電位の特徴

○津村秀樹¹⁾、安藤久美子¹⁾、中澤佳奈子¹⁾、野田隆政²⁾、岡田幸之¹⁾

- 1) 司法精神医学研究部
- 2) センター病院

11 : 25-11 : 55 社会復帰研究部

座長 伊藤順一郎

1 : 精神障害者に対するアウトリーチサービスに関するプログラム評価研究

○吉田光爾

社会復帰研究部

2 : 重い精神障害をもつ者に対する認知機能リハと援助付き雇用の組み合わせによる就労支援

○佐藤さやか、山口創生、下平美智代、市川健、種田綾乃、古家美穂、吉田光爾、伊藤順一郎

社会復帰研究部

3 : 精神障害者に対する援助付き雇用における利用者の被支援量：サービス・コード票分析の途中経過報告

○山口創生¹⁾、佐藤さやか¹⁾、下平美智代¹⁾、市川健¹⁾、種田綾乃¹⁾、吉田光爾¹⁾、坂田増弘²⁾、伊藤順一郎¹⁾

- 1) 社会復帰研究部
- 2) センター病院

11 : 55-12 : 25 成人精神保健研究部

座長 金 吉晴

1 : Delphi 法を用いたエキスパートコンセンサスによる犯罪被害者の急性期心理社会支援ガイドラインの開発

○中島聡美¹⁾、鈴木友理子¹⁾、成澤知美^{1,2,3)}、浅野敬子^{1,4)}、深澤舞子¹⁾、金吉晴¹⁾

- 1) 成人精神保健研究部
- 2) 大阪大学大学院人間科学研究科
- 3) トランスレーショナル・メディカルセンター

4) 武蔵野大学大学院人間社会研究科

2 : 被災地の県職員の精神的不調と業務との関連ー東日本大震災から 2 か月後に行われた健康調査の結果よりー

○深澤舞子¹⁾、鈴木友理子¹⁾、小原聡子²⁾、金吉晴¹⁾

1) 成人精神保健研究部

2) 宮城県精神保健福祉センター

3 : 身体部位の自己所有感覚における COMT 遺伝子多型の影響

○池田大樹、本間元康、栗山健一、吉池卓也、金吉晴

成人精神保健研究部

13 : 40-14 : 10 薬物依存研究部

座長 和田 清

1 : 精神科病医療機関における脱法ドラッグ関連患者の臨床的特徴

○松本俊彦¹⁾、立森久照²⁾、谷渕由布子³⁾、高野歩^{1,4)}、和田清¹⁾

1) 薬物依存研究部

2) 精神保健計画研究部

3) 千葉病院

4) 東京大学大学院医学系研究科精神看護学専攻

2 : クラブイベント来場者における形状別にみた脱法ドラッグの使用パターンと使用に伴う主観的症状について

○嶋根卓也¹⁾、和田清¹⁾、日高庸晴²⁾、舩田正彦¹⁾

1) 薬物依存研究部

2) 宝塚大学看護学部

3 : 薬物依存症者に対する認知行動療法プログラムにおける脱法薬物患者の臨床的特徴

○引土絵未、松本俊彦、和田清、今村扶美、谷渕由布子、高野歩

薬物依存研究部

14 : 10-14 : 40 精神保健計画研究部

座長 竹島 正

1 : ベイジアンモデル選択による時間的に通常と異なるパターンの検出法を用いた精神病床からの退院件数の推移が異なる地域の検討

○立森久照¹⁾、加藤直広^{1,2)}、伊庭幸人^{1,3)}、臼田謙太郎¹⁾、後藤基行¹⁾、下田陽樹¹⁾、

楠本英子^{1,4)}、竹島正¹⁾

1) 精神保健計画研究部

2) 電気通信大学産学官連携センター

3) 統計数理研究所モデリング研究系

4) 総合研究大学院大学複合科学研究科

2: 被災者における K6 尺度への回答傾向および得点分布の特徴: 被災地データおよび一般国民データの二次解析による比較

○下田陽樹^{1,2)}、川上憲人²⁾、土屋政雄³⁾、岩田昇⁴⁾

1) 精神保健計画研究部

2) 東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野

3) 独立行政法人労働安全衛生総合研究所作業条件適応研究グループ

4) 広島国際大学心理科学部臨床心理学科

3: NCNP における歴史資料館開設準備計画

○後藤基行¹⁾、竹島正¹⁾、吉田光爾²⁾、有馬邦正³⁾

1) 精神保健計画研究部

2) 社会復帰研究部

3) センター病院

14: 40-15: 10 社会精神保健研究部

座長 伊藤弘人

1: 精神科救急病棟における医療の質に関する予備的検討

○山之内芳雄¹⁾、佐藤真希子¹⁾、平田豊明²⁾、伊藤弘人¹⁾

1) 社会精神保健研究部

2) 千葉県精神科医療センター

2: スタッフによる攻撃性観察尺度 (SOAS-R) を用いた攻撃的行動の性質および重症度に関する検討

○佐藤真希子¹⁾、野田寿恵^{1,2)}、杉山直也²⁾、吉浜文洋³⁾、伊藤弘人¹⁾

1) 社会精神保健研究部

2) 公益財団法人復康会沼津中央病院

3) 日本精神科看護技術協会

3: 統合失調症患者における抗精神病薬の潜在的な心血管リスクに関する解析

○池野敬¹⁾、久木山清貴²⁾、伊藤弘人¹⁾

1) 社会精神保健研究部

2) 山梨大学大学院医学工学総合教育部 内科学講座第二

15: 10-15: 40 精神薬理研究部

座長 山田光彦

1: 情動調節における内側前頭前野グルタミン酸神経伝達系の役割

○斎藤頭宜¹⁾、大橋正誠^{1,3)}、山田美佐¹⁾、鈴木聡史^{1,3)}、山下萌^{1,4)}、塚越麻衣^{1,3)}、橋本富男¹⁾、杉山梓^{1,3)}、山田大輔²⁾、岡淳一郎³⁾、関口正幸²⁾、山田光彦¹⁾

1) 精神薬理研究部

2) 疾病研究第4部

3) 東京理科大学薬学部薬理学教室

4) 東京医科歯科大学医学部

2 : 脂質メディエーター リゾホスファチジン酸の情動行動に及ぼす影響：新規抗不安薬ターゲットとしての検討

○塚越麻衣^{1,2)}、山田美佐¹⁾、岡淳一郎^{1,2)}、斎藤顕宜¹⁾、山田光彦¹⁾

1) 精神薬理研究部

2) 東京理科大学薬学部薬理学研究室

3 : 我が国で実施された救急医療機関に搬送された自殺企図者を対象にした研究の特徴と今後の課題：系統的レビュー

○川島義高¹⁾、米本直裕²⁾、稲垣正俊³⁾、山田光彦¹⁾

1) 精神薬理研究部

2) トランスレーショナル・メディカルセンター情報管理・解析部

3) 岡山大学病院精神科神経科

15 : 55-16 : 25 児童・思春期精神保健研究部

座長 神尾陽子

1 : 自閉症スペクトラム児における聴覚性前注意的弁別処理の電位源推定に関する研究

○高橋秀俊、中鉢貴行、小松佐穂子、岡島純子、飯田悠佳子、荻野和雄、神尾陽子
児童・思春期精神保健研究部

2 : 自閉症スペクトラム障害における表情及び人物認知メカニズムの発達的变化に関する研究：中間報告

○小松佐穂子¹⁾、高橋秀俊¹⁾、神長伸幸²⁾、岡島純子¹⁾、荻野和雄¹⁾、中鉢貴行¹⁾、飯田悠佳子¹⁾、近藤綾子²⁾、柴田奈津美²⁾、馬塚れい子²⁾、神尾陽子¹⁾

1) 児童・思春期精神保健研究部

2) 理化学研究所

3 : 就学前幼児における自閉症的行動特性と不器用との関連性

○飯田悠佳子¹⁾、中井昭夫²⁾、三宅篤子¹⁾、荻野和雄¹⁾、神尾陽子¹⁾

1) 児童・思春期精神保健研究部

2) 福井大学

16 : 25-16 : 55 精神生理研究部

座長 三島和夫

1 : 情動の認知と制御、及び社会性に関する脳画像研究

○守口善也^{1,2)}、寺澤悠理¹⁾、勝沼るり¹⁾、大場健太郎¹⁾、村上裕樹²⁾、金山祐介¹⁾、川島一朔¹⁾、元村祐貴¹⁾、肥田昌子¹⁾、花川隆²⁾、松田博史²⁾、三島和夫¹⁾

1) 精神生理研究部

2) 脳病態統合イメージングセンター 先進脳画像研究部

2：どのような睡眠習慣と食習慣が肥満リスクを高めるか

○中崎恭子、北村真吾、元村祐貴、Jakub Spaeti、守口善也、肥田昌子、三島和夫
精神生理研究部

3：日常生活における睡眠負債が肥満に及ぼす神経学的検証

○勝沼るり、大場健太郎、元村裕貴、寺澤悠里、中崎恭子、片寄泰子、北村真吾、
肥田昌子、守口善也、三島和夫
精神生理研究部

16：55-17：25 災害時こころの情報支援センター

座長 金 吉晴

1：東日本大震災のメディア報道による子どもたちのメンタルヘルスへの影響調査

○大沼麻実¹⁾、神尾陽子²⁾、金吉晴¹⁾

1) 災害時こころの情報支援センター

2) 児童・思春期精神保健研究部

2：東日本大震災こころのケアチーム活動の把握—宮城県、仙台市、福島県の個票調査—

○荒川亮介、渡路子、小見めぐみ、吉田航、金吉晴

災害時こころの情報支援センター

3：都道府県・政令指定都市の災害精神保健医療体制の整備状況と DPAT が携行する薬剤リストについて

○吉田航、渡路子、荒川亮介、小見めぐみ、中神里江、金吉晴

災害時こころの情報支援センター

17：25-17：35 閉会の辞

精神保健研究所 所長

福田 祐典

19：00-20：00 懇親会・表彰式（コスモホール）